



大場洋介 議員

防災マップ及び避難場所の見直しは

回答 全面改訂し、町民の安全確保につとめる

防災マップ・避難場所の見直しは
大場洋介議員 ゲリラ豪雨や台風の巨大化による大規模災害が懸念される中、指定避難場所は安全か。現マップは、避難経路や予測を超える災害対応として不十分では。

避難場所への備蓄品の常備策は
大場議員 避難場所への備蓄品の常備も欠かせないが、どう考えるか。

町民税務課長 備蓄用飲料水の他、簡易トイレ、寝袋等を備蓄し、防災倉庫に保管。状況により必要物資が異なる。

り、その都度搬出した。災害時は15ある災害協定を活かし、必要物資等の対応を行う。防災に力を入れ移住定住につなげては



身近に置きたい災害ハザードマップ

町民税務課長 防災・減災対策に努め、安全安心な町づくりを進めながら、住む場所として選んでいただけるよう取り組む。

冬期間の歩道事故防止策は

回答 通学に配慮した作業に努める

大場議員 冬期間は歩行時の事故等が多い。登下校時は、積雪や降雪により通学路も危険。注意喚起の他、安全を考えた具体策は。

環境整備課長 雪壁崩落で歩行者が巻き込まれないよう除去する他、街路樹に溜った雪の除去や車道の除排雪で対処する。通学の妨げにならないよう視界不良を考え、安全に作業する。

危険個所のロードヒーティング化は
大場議員 高齢者の転倒防止のため、歩行者に優しい環境が求められる。歩道や横断歩道等は滑りやすく、ロードヒーティング化の検討は。

環境整備課長 現時点では考えていない。雪の溜りやすい箇所を重視し、除雪オペレーターに気配り目配りを指導している。



通学路も含めた除雪が期待される

雪を間口に置かない
対策強化は
大場議員 間口除雪では、高齢者夫婦世帯への配慮が不十分。今後の体制づくりと対策は。

環境整備課長 間口除雪が困難な世帯リストに基づき、可能な限り雪を置かないよう指示している。地域包括センターなどからの意見や要望も、現地を確認しながら対応したい。

健康福祉課長 有償ボランティアのあり方も、研修会などを重ね検討している。

中央公民館大ホールに空調設備を

回答 費用が課題 可能な限り代替会場で



沼澤道也 議員

エアコン設置は概算で1000万円超
沼澤道也議員 中央公民館の改築延期への対応として、大ホールへの空調設置とステージ床張替えを望む声が多いがどう考えているか。

教学課長 昭和45年3月の竣工以来、半世紀に亘り利用されている施設で、大ホールのみが冷房設備がなく利用者からも強い要望があるが、冷房設備の設置費用は概算で1000万円超となる。改築までは現状での利用となるため、特に



当面の使用にも課題が

夏場は大型扇風機を使用したり、利用団体と協議し冷房のある別の部屋を使用したいたりしている。行事によっては開催時期の変更を提案したりしている他、成人式は対象者の減少もあり、改善センターへ変更してきた。また、要望のあるステージ床については、部分的な対応で可能と考えている。

沼澤議員 簡易空調でもいいので、改築までの代替的対応策が必要ではないか。

町長 価格は設置するもの、手法によって変わるものである。改築は、先に示した基本設計に基づき進めたいが、できる限り早く、基金を含めた改築できる環境づくり、体制づくりに入れるようにしたい。

小学校統合と学力向上を
沼澤議員 新教育長としての抱負を。

教育長 5月22日開催の総合教育会議（町長、教育委員、事務局）で令和4年4月をめどに明安小・有屋小を金山小に統合することで意見がまとまり、議会に報告した上で、関係機関（校長会、PTA、関係地区など）にもお伝えし、小学校区毎の懇談会等で意見を聴いた。今後は、参加できな

かった方々の意見も含めて、町民の方々の意見を拾うため記述式のアンケートを実施し、統合に向けた動きをていねいに進めていきたい。また、ここ数年の全国的な学力学習状況調査では、全国平均を下回る結果となっており、学力向上に力を注ぎたい。その対応として、各校の先生を中心に秋田県東成瀬村への視察研修を計画している。

マルコの家を学生に開放しては
沼澤議員 大學生の利用を含めたマルコの家の利用基準の検討は。環境整備課長 条例の趣旨



学生の利用も可能なマルコの家